

平成16年度事務事業評価表

担当	都市開発部	都市施設課	内線等	1324
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	公園整備事業		
根拠法令等	蒲都市都市公園条例・規則	A法令	B条例	C規則	Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
人と自然が共生する潤いあるまちづくり	公園・緑地

②事務事業の内容

対象（受益者）	都市公園利用者のために
手 段	都市公園を整備、修景緑化を進めることにより
想定する成果	安らぎの場を提供する

③事業の概要

(千円)

項 目	平成15年度実績		平成16年度実績		平成17年度計画	
各種公園整備費	16公園	12,398	16公園	3,331	16公園	1,742
各種公園植栽費	28公園	3,338	28公園	1,514	28公園	1,810
修景緑化費	28公園	449	28公園	500	28公園	2,190

④成果指標

①

②

成果指標名	公園施設の改修率	
成果指標の説明	改修済公園／改修該当公園×100	

⑤事業の進捗状況

(一般会計)

(千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	50.0%
	実績	37.5%	43.8%	—
成果指標 ②	計画	—	—	—
	実績	—	—	—
事業費	事業費	16,185	5,345	5,742
	人件費	12,176	12,054	12,420
	(人数)	1.5	1.5	1.5
	合計	28,361	17,399	18,162
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	28,361	17,399	18,162

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	1	半世紀以上経過した公園のリニューアルの整備（16公園）
経済効率性	3	2	直営にて対応できる物については直営にて努力している。（取り壊し、撤去等）
事務効率性	2	2	部分整備の為二重の手間がかかる
必要性	3	3	市民に安らぎの場を提供していく為、継続していく必要がある。
小計	10 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	地域市民の参加できる花壇（花植え）新設
合計	12 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

維持管理等メンテナンスに係る遊具等の削減。

⑧今後改善すべき点

メンテナンス費用のかからない施設遊具等の充実を図ることにより、自然に近い癒しの空間の公園としたい。

⑨平成18年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	都市開発部	都市施設課	内線等	1322
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	都市施設維持管理事業		
根拠法令等	公共駐車場、定住促進駐車場及び自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例並びに行政財産使用料条例	A 法令	B 条例	C 規則	D その他 E なし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	市街地整備

②事務事業の内容

対象（受益者）	駅及び駅周辺商業施設の利用者のために
手 段	駅周辺施設を適切に維持管理し
想定する成果	良好な利用環境を保つ

③事業の概要

施設名及び箇所数＝駅前広場 4、公共駐車場 3、定住駐車場 1、自転車駐車場 17
 公衆便所 3、地下道 2、上空通路 1 合計 31施設

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
施設管理委託料	25,017千円	24,427千円	23,227千円
施設整備工事費	1,657千円	361千円	900千円
使用料・賃借料	7,280千円	7,110千円	7,634千円
光熱水費・修繕料	6,949千円	5,441千円	5,170千円
公共駐車場利用台数	110,541台	118,027台	118,000台

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	駅利用一人当たりの維持管理費	一日当たりの公共駐車場利用台数
	総事業費／駅利用者（7駅年間利用者）	公共駐車場利用台数／365日

⑤事業の進捗状況

（ 一般会計 ）

（千円）

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①（千円）	計画	—	—	14円
	実績	15円	14円	—
成果指標 ②	計画	—	—	320台
	実績	303台	323台	—
事業費	事業費	41,340	38,593	38,746
	人件費	12,918	12,755	13,120
	（人数）	1.3	1.3	1.3
	合計	54,258	51,348	51,866
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	駐車場 使用料等	33,425	36,992	35,737
	一般財源	20,833	14,356	16,129

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	概ね都市施設は良好に管理されている。
経済効率性	2	2	年間を通し、公共駐車場の利用度は高く、利益率は高いものがある。
事務効率性	2	2	投入された人員にほぼ見合った成果をあげている。
必要性	2	2	公共駐車場を除き、市が実施するのが望ましい。ただし公共駐車場の収益は、重要な財源である。
小計	8 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	2	1	一部の市民（駅及び駅周辺商業施設の利用者）、地域からの要望により維持管理をしている施設である。
合計	10 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

数年に渡り経費の節減を図ってきた。

⑧今後改善すべき点

公共駐車場の料金の見なおし及び同施設の指定管理制度への検討。

⑨平成18年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

都市施設課の業務を効率よくするには、定年の近い職員及び非常勤職員を適材適所に配転し、若い職員を配属し職員の平均年齢を下げる必要がある。具体的には、管理職1名減でも可能と思われる。

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	都市開発部	都市施設課	内線等	1332
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	鉄道高架側道側壁関連整備事業		
根拠法令等	土地収用法、道路法、河川法等		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	鉄道高架

②事務事業の内容

対象（受益者）	鉄道高架の関連事業として
手 段	系統的な交通網を整備することによって
想定する成果	市街地の一体的な発展を図る

③事業の概要

(千円)

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
主な事業内容	物件調査委託料他 3,990 側道整備工事A=250㎡ 883 側溝整備工事L=28m他 860	用地買収 204.78㎡ 14,088 物件補償 2件 25,564	側道補修工事 2箇所 1,600

④成果指標

①

②

成果指標名	事業進捗率	
成果指標の説明	累積実績事業費/総事業費×100	

⑤事業の進捗状況

(一般会計)

(千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	28.7%
	実績	25.3%	28.5%	—
成果指標 ②	計画	—	—	—
	実績	—	—	—
事業費	事業費	6,595	39,694	2,500
	人件費	8,928	8,839	9,108
	(人数)	1.1	1.1	1.1
	合計	15,523	48,533	11,608
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	15,523	48,533	11,608

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	1	土地所有者との交渉、JR・名鉄等関係機関と協議調整中である。
経済効率性	2	2	予算にほぼ見合った成果をあげている。
事務効率性	2	2	土地所有者との交渉、JR・名鉄等関係機関との調整が難しい。
必要性	3	3	市街地の一体的な発展を図るため交通網を整備する。
小計	9 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	2	2	適宜地元説明会等を実施し、了解を得ながら進めている。
合計	11 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	予算に見合った成果はあげているが、事業全体からみた進捗率は低い。
------	---	---	----------------------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

事業主体の愛知県や鉄道事業者等の各関係機関と連携を密にして事業の促進を図ってきた。

⑧今後改善すべき点

土地所有者に対し、さらに積極的に交渉を進めるとともに各関係機関の協力を求める。
計画総事業費1,249,176千円に対し、平成16年度末の進捗率は28.5%である。計画最終年度である平成30年度完了を目指して事業を進捗させたい。

⑨平成18年度予算に反映する項目

市道竹谷元町浜家1号線築造にかかる用地費及び物件移転補償費のほか、側道用地等の取得費やその整備費を確保する。

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載